

//////////////////////////////// 洲本市議会だより //////////////////////////////////

みんなのぎかい

2021.1.15 Vol.58

令和3年の幕開け

公募写真 第3号

写真タイトル:大浜からの朝日 撮影者:竹口純史彦さん 撮影場所:大浜

議会費から468万1千円 政務活動費・行政視察費などを減額

チェロとピアノのデュオ



チェロ：島田 瑠萌さん
ピアノ：小柳 祥子さん

令和2年度予算の12月補正では、例年実施してきた委員会による行政視察や、会派による政務活動などが、コロナ禍のもとで実施できなかったため、新型コロナ対策事業などの財源として充当してもらおうよう、その全額を減額します。

また、その一部を、演奏機会が激減した、本市ゆかりの演奏家を支援するため、議場コンサートを開催しました。

議会用語

- **政務活動費** … 地方議員の資質の向上と、地方議会の活性化を図るため、地方自治法に規定され、議員が調査研究する活動に必要な経費の一部として交付されます。本市では、一人年額15万円(月額12,500円)を会派に交付し、残った場合は市へ返還することになっています。
- **行政視察** … 本市では、委員会ごとに先進自治体を直接訪問し、他市の取り組みを学ぶとともに、意見交換を行い、議会活動に反映できるよう、年に1回行政視察を実施しています。

12月定例市議会で追加した感染拡大防止事業

- 聴覚障がい者の通院時などに、手話通訳者がオンラインで通訳を行うシステムを整備します。

- ワクチン保管に必要な、超低温冷凍庫や予防接種の管理台帳を整備します。



- 応急診療所・国保診療所に、マイナンバーカードによるオンライン資格認証システムを導入します。

- 大浜公園ビーチハウス・シャワー更衣室棟の感染防止対策をします。

- 小・中学校のトイレを洋式にします。

- 洲本図書館の空調設備を新しくします。



議案審査Q&A

議案第87号 ふるさと納税

Q 好調だが、現在の状況は。

A〔「情報部」〕昨年度の4倍を超える25万件の寄附数が見込まれる。現時点での寄附件数は約18万2千件、寄附額は28億円。昨年同時期は約4万2千件、寄附額は約11億9千万円である。返礼品の数も1000点を超えている。

ふるさと洲本 もっともっ 応援寄附金事業

- ◎ふるさと納税増加分の基金への積み立て（本年3月までの見込み寄附総額）
… 27億1,000万円
- ◎返礼品費や寄附の受け入れ事務費など… 13億2,000万円
- ◎特産品のブランディングや本市の魅力をPR… 9,500万円
- ◎ふるさと産品の開発など
…… 730万円



▲赤レンガ建物（旧アルファビア）

議案第87号 赤レンガ建物 リノベーション

Q 整備費用が増加している理由は。

A〔「情報部」〕窓やスプリンクラーの設置、厨房部分の拡張などによるものである。

議案第87号 遠隔手話通訳 サービス

Q サービスの内容は。

A〔「健康部」〕聴覚障がい者の方からの申し込みにより、オペレーターによる手話



議案第87号 やさしい 住まいづくり

Q 事業の内容は。

A〔「健康部」〕介護保険サービスと障害福祉サービスで、それぞれ20万円を限度とする。住宅改修事業に、一部の大規模な改修を要する場合はさらに40万円を限度として上乘せし、補助を行う事業である。

議案第87号 定期巡回・随時対 応型訪問介護看護

Q 事業の内容は。

A〔「健康部」〕兵庫県社会福祉

通訳を受けることのできるサービスで、QRコードを発行する端末機と、手話通訳者の端末機を整備する。端末機の設置場所については、淡路聴覚障害者センターを予定している。

議案第87号 地域おこし協力隊

Q 応募がなかったため減額することだが、その要因は。

A〔「産業部」〕本市の重要な産業である和牛農家は、年々減少傾向にあることから、令和2年度の募集では、契約満了後、市内で繁殖和牛経営などに関わる意思がある者という条件で1名を募集したが、ハードルが高かったと思われる。

事業団が事業を実施し、拠点施設は五色サルビアホールとなる。本事業は訪問介護サービスと訪問看護サービスを提供するもので、訪問介護サービスは事業団が提供し、訪問看護サービスについては、市内の他の事業所との業務提携により、サービスの提供を行う予定である。

請 願

「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)」の各施設で、屋根・壁・床の資材に淡路瓦の使用、推奨を求める請願書



▲共働ワークスタイル
＝コワーキング

Q 設置する場所は。
A 「振興部」本町7丁目の古い長屋を改修してオフィスにする予定である。

議案第87号
コワーキング
スペース

意見書

地方自治法第99条の規定に基づき、次の意見書を関係機関へ提出します。

1. 激甚化する自然災害への対応と地域の安全・安心を確保するための社会資本整備の更なる推進を求める意見書
2. 「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)」の各施設で、屋根・壁・床の資材に淡路瓦の使用、推奨を求める意見書

Q キャッシュレス決済はどれくらいの店舗が取り入れているのか。
A 「振興部」現時点で約600店舗が契約されていると聞いている。なお、令和元年度に実施したプレミアム商品券の参加店舗数を超えている。

議案第87号
キャッシュレス決済
促進キャンペーン

11月臨時市議会 議決結果一覧

全員賛成の議案

件名	件名
議案第77号	一般会計補正予算(第7号)
議案第78号	国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
議案第79号	CATV事業特別会計補正予算(第1号)
議案第80号	介護保険特別会計補正予算(第2号)
議案第81号	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

件名	件名
議案第82号	介護サービス事業会計補正予算(第1号)
議案第83号	駐車場事業会計補正予算(第1号)
議案第84号	下水道事業会計補正予算(第2号)
議案第85号	土地取得造成事業会計補正予算(第1号)
議案第86号	職員の給与に関する条例の一部改正

12月定例会市議会 議決結果一覧

全員賛成の議案等

件名	件名
議案第87号	一般会計補正予算(第8号)
議案第88号	国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
議案第89号	堺財産区特別会計補正予算(第1号)
議案第90号	CATV事業特別会計補正予算(第2号)
議案第91号	介護保険特別会計補正予算(第3号)
議案第92号	後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
議案第93号	下水道事業会計補正予算(第3号)
議案第94号	土地取得造成事業会計補正予算(第2号)
議案第95号	所得税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定
議案第96号	地域経済牽引事業の促進に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正
議案第97号	地方活力向上地域における固定資産税の課税免除又は不均一課税に関する条例の一部改正
議案第98号	国民健康保険税条例の一部改正
議案第99号	五色健康福祉総合センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

件名	件名
議案第100号	定住・交流促進センターの設置及び管理に関する条例の一部改正
議案第101号	兵庫県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約の変更
議案第102号	公の施設に係る指定管理者の指定(CATV施設)
議案第103号	公の施設に係る指定管理者の指定(五色健康福祉総合センター)
議案第104号	過疎地域自立促進計画の変更
議案第105号	人権擁護委員候補者の推薦
議案第106号	一般会計補正予算(第9号)
請願第1号	「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)」の各施設で、屋根・壁・床の資材に淡路瓦の使用、推奨を求める請願書
意見書案第2号	激甚化する自然災害への対応と地域の安全・安心を確保するための社会資本整備の更なる推進を求める意見書
意見書案第3号	「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)」の各施設で、屋根・壁・床の資材に淡路瓦の使用、推奨を求める意見書

※表記は、正式な名称ではありません。

所管事務調査

市議会では、議会が閉会中、それぞれの委員会が所管する事業について、報告を受け調査をしています。調査内容をお知らせします。

総務常任委員会

バス利用促進券は、定期券がお得

企画情報部より、バス利用推進事業、淡路島中央スマートIC利用促進事業。総務部より、洲本市国土強靱化地域計画。財務部より、サマーレビュー2020について説明を受け、その後、五色町広石北の企業誘致造成地と、安乎町中田の安乎分団詰所の現地調査を行いました。

令和元年10月から、バス利用促進券の利用者は定期券・利用券合わせて1200人。バスを毎日利用する場合定期券を購入すると、申請の煩雑さもない上、料金も2分の1を少し超える割引率となりお得になります。(11月2日)



▲五色町広石北の企業誘致造成地を視察

教育民生常任委員会

小中学校のICT整備・活用状況などを調査

市民生活部より、し尿の下水道放流計画。健康福祉部より、「つむぐファイル」事業、ひとり親等世帯図書カード交付についてのアンケート。教育委員会より、ICT整備・活用状況調査結果の検証及び展望について説明を受け、事業内容や進捗状況、今後の予定を調査しました。

その後、中川原の給食センターで学校給食を試食し、新築された放課後児童クラブ安乎を視察。最後に視察した淡路文化史料館では、「トライやる・ウィーク」中の中学生が、案内人として奮闘していました。(11月13日)



▲トライやる・ウィーク（淡路文化史料館）

産業建設常任委員会

総合治水の取り組み ながす・ためる・そなえる

農政課より、フードトラックパートナー事業。農地整備課より、令和2年発生農業土木施設災害復旧事業。商工観光課より、洲本へいらっしやいキャンペーン事業。建設課より、令和2年発生公共土木施設災害復旧事業について説明を受け、状況を確認しました。

午後からは、本年度の完成を目指し、洪水吐のり面保護の張ブロック工事が急ピッチで進められている新宮池などを現地調査。近年増加する豪雨災害の備えとして、ため池の治水事業効果を確認しました。(11月4日)



▲新宮池（金屋）

議会事務局動画ページへアクセス

なのは 一般質問 (令和2年12月定例会)

印刷ページ表示 大きな文字で印刷ページ表示 更新日: 0000年00月00日更新



Q QRコードの有効活用について。

A 一般質問の掲載ページに、質問者の録画映像へリンクするQRコードを掲載しています。このQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、それぞれの質問者の動画にアクセスすることができます。



一般質問に各質問者のQRコードを掲載しました

なのは



Q 高齢者の生活支援、健康を守る取り組み

A シルバー人材センターの役割は大きい。これまでの経験や資格を生かし、勤労意欲のある方の働く場の確保として、シルバー人材センターを充実させては。

Q 高齢者の支援制度が各部各課にあるが、医療・介護なども含め、困った時に役に立つよう、高齢者支援ハンドブックなど作成できないか。

A 各部・各課で制度のパンフレットを作成している。まずは、高齢者の保健、福祉、医療、介護などの総合相談窓口である地域包括支援センターへご連絡を。ハンドブックの作成は今後検討していく。(健康福祉部長)



高齢者支援制度などをまとめたハンドブックの作成を

近藤 昭文 (日本共産党)



Q PCR 検査登録 医療機関は88カ所と聞いているが、公表しているが、公表については。

A 本市医師会のホームページに掲載されている。(健康福祉部長)

Q 農業者支援で、高収益作物次期作支援交付金の運用見直し後の対応は。

A 国の運用見直しにより、交付金の減額、または支給されない生産者を対象として、既に実施した機械などの投資に対し減額分を上限として支援することが決定している。(産業振興部長)



▲シルバー人材センターの事務所



時に支え、時に支えられる
地域社会の実現を

狩野 揮史（公明党）



コロナ禍が引き起こす
社会の変化

Q 行政手続の押印廃止と書面主義の見直しについて、本市の考えは。

A 将来的に申請手続きのオンライン化に繋がる環境づくりと、申請時における市民の方々の負担軽減に考えると考える。（総務部長）

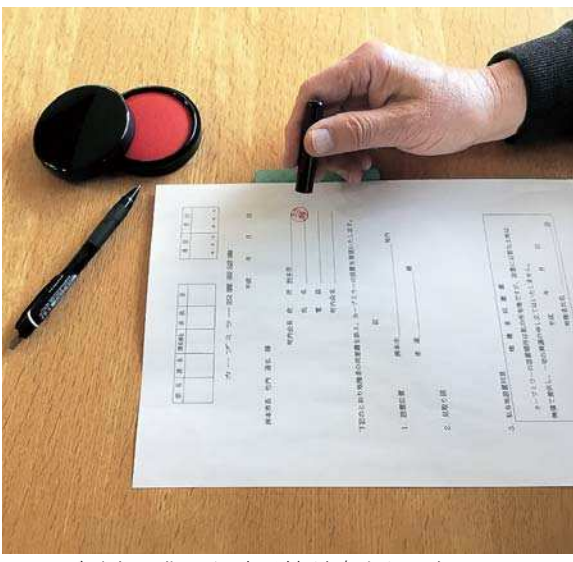
Q コロナ禍での、住宅セーフティネット制度は。

A 住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅として、民間住宅の32棟2000戸の登録がある。今後は、低廉な家賃で住宅を提供する目的を持った市営住宅の活用と合わせて、国の運用によるセーフティ

ネット住宅情報提供システムの情報を提供しながら、安定した居住の確保に努める。（都市整備部長）

Q 公共工事において新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の費用は。

A 国・県の事務連絡では、発生した費用は通常の工事に含まれている。（理事）



▲デジタル化で行政手続が速やかになり、より一層の利便性の向上が期待されている。

まれば、特別計上するところ。防止対策として実際の蓄積がないことや、実施のレベルによっては、通常の工事の場合と比べて、価格が大きく異なることが想定され、妥当性の判断が求められる。各工事の現場の状況に応じて、受注者と協議しながら対応していく。（理事）



洲本市らしさを高める
景観の保全を

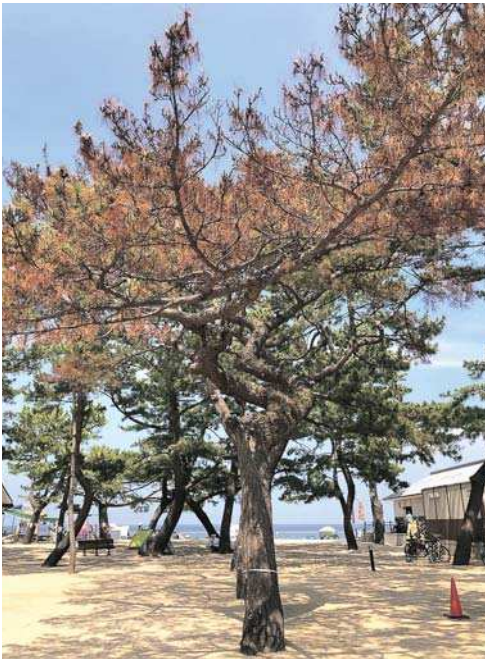
福本 巧（宙）



Q 次世代の松の育成を視野に入れた松林の保全整備は。

A 平成30年に発生した松枯れは、海水浴シーズンでの駐車場利用による地盤の締まりと、台風による浜辺の冠水により、大きなダメージを受けたものと考ええる。

今後は固く締まった土壌の改良などにより、現存する松の保全を考えているが、県道にはみ出た一部の松については、歩行者などの安全確保の観点から、剪定および伐採などの整備が必要となるものと考ええる。（産業振興部参事）



▲美しい景観の喪失が危惧される大浜公園

*大浜公園の風情漂う景観を損なうことのないよう、松の保全、環境整備を要望しました。

Q 外国人居住者への廃棄物処理の周知は。

A 転入時に、ごみの分け方、出し方を解説したガイドブックや分別カレンダーを配布している。しかし、現時点において配布しているガイドブックなどは日本語表記のみのため、今後、外国居住者に対してどういった周知方法が良いのか検討したい。（市民生活部長）

*外国人居住者に対して、多言語による生活情報の提供を要望しました。



財政の健全化を目指して

清水茂(宙)



Q 年度途中で財政状況をみることはできるのか。

A 毎年3月1日(前年7月1日～12月31日まで)と9月1日(1月1日～6月30日まで)に、本市の財政事情として予算の執行状況、住民の負担、財産・地方債などを市ホームページで公表している。(理事)

Q 令和3年度予算編成の基本方針は。

A 歳入面において新型コロナウイルス感染症による市税への影響や、合併算定替えに加え、令和2年の国勢調査人口減少による普通交付税の減少など、厳しい状況が予測される中、持続可能な財政基盤を確立すべく、

また「豊かな自然とやさしさあふれる暮らし共創都市・洲本」を目指し、予算編成に努む。

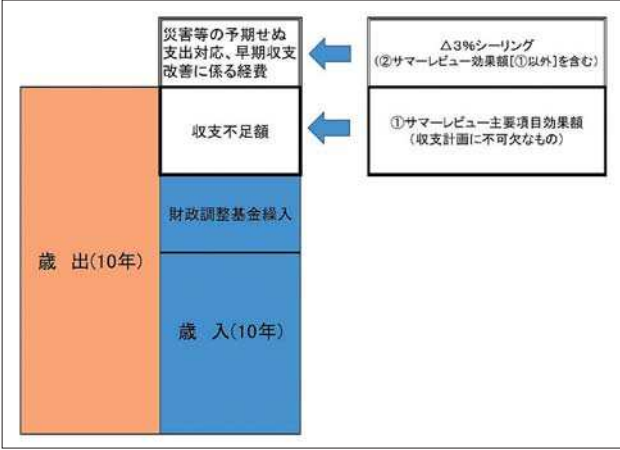
Q サマーレビューによる効果額の反映は。

A サマーレビュー2020の主要項目による事業見直しを

020の主要項目以外の効果額を含め、引き続きマイナス3%を上限とする予算編成の継続により、災害などの予期せぬ支出などに備えた基金の造成に努める。(理事)

※サマーレビューとは持続的な財政基盤を確立するため、事務事業等や補助金等の見直しを行う点検作業

めめること
で、令和3年度以降10年間の見直しによる効果額により収支不足額を解消する。さらに、サマーレビュー2



▲サマーレビュー効果額の反映図



コロナ禍で加速するデジタル化の活用を

中野睦子(志)



Q 市の広報紙がぐんとスタイルアップした。市民の皆さんをクロスアップ、特集ページを組むなど斬新な内容となっているが、その要因は。

A 市からの一方的な発信でなく、市民目線での編集、視線の導線を意識したレイアウト、インパクトある写真など、読みやすい紙面構成を心掛けている。(企画情報部長)

Q 積極的な情報発信に便利な、市の公式ラインを活用しては。

A 来年度から、市のホームページと同時にツイッター・フェイスブックのアプリの採用を検討している。(企画情報部長)

Q スマホなどで借りて返す「電子図書館」は、感染予防の観点から見て有効では。

A 図書館の利用制限中、電話やネットでの貸し出しを実施。現在利用者数も昨年並みに戻りつつあり、来館いただく施設運営が基本

と考えている。今後、メリット・デメリットなどを調査して行く。(教育長)

そのほか、放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に行う、アフタースクール事業について質問しました。



▲多くの写真を活用、構成も分かりやすい広報すもと(2020年12月号)



新型コロナウイルス
第3波への備えを

高島 久美子（市）



市長・副市長がともに
感染した場合

Q 加古川市で正副議長がともに感染し、仮議長が選挙されている。本市の市長・副市長がともに感染した場合、市長の職務代理はどう規定しているのか。

A 地方公共団体の長の職務代理は、地方自治法に規定されており、市長・副市長ともに事故があるとき、又は欠けたときは、職員のうちから長が指定する職員が、その職務の代理を行う。

本市では規則によりその指定する職員を「総務部長」と定め、総務部長も職務代理を行えない場合、同規則によ

り職務代理を行う順序を規定している。

オンライン授業

Q 学校が休校などになった場合、オンライン授業の整備状況はどうか。

A 児童生徒1人1台の端末は整備中。貸し出し用モバイルルーターの準備が整い、各家庭の通信ネットワークの環境を整えば、持ち帰って各家庭で使用できる状況となる。（教育長）



▲洲本市観光の宝 洲本城跡

GoTo
キャンペーンの
本市の対応

Q 人々の生命、暮らしを守りながら、経済活動を止めることなく、この第3波を乗り切っていくための覚悟と決意の言葉をいただきたい。

A 感染防止対策を各人がしっかりと行っていたくことにより、観光業、地域経済の活性化につながることを信じる。（市長）



地球温暖化防止へ、
気候非常事態宣言を

間森 和生（日本共産党）



ごみ減量化と環境問題

Q 25%ごみ減量化作戦の現状は。

A 使用済み小型家電の無料回収品目の拡大で、45.5トンを業者に引き渡した。生ごみ減量化対策では、コンポストなどの設置補助金を増額したこと、7カ月間で21件の補助金を交付しており、昨年度に比べ大幅な増加となる見込み。（市民生活部長）

Q 市の事務事業における温室効果ガス排出量の削減は。また「気候非常事態宣言」を出す考えは。

A 「洲本市地球温暖化対策実行計画第3期」で、温室効果ガスを3%以上削減する

ために、燃料や電気使用に関することなどを定め、全職員が一丸となって取り組んでいる。

また、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指すには、再生エネルギーの導入、省エネの推進、ごみ減量化など、市民や事業所と連携し危機感を持って取り組む必要があり、気候非常事態宣言も含め、必要な施策について研究していきたい。（市民生活部長）

Q 五色地域の活性化計画は。

A 年度末までには基本計画を策定する予定で、順調に進めば令和3年度が実施設



▲アワイチルートの県道31号線



高齢者の移動手段の確保を

笹田 守 (志)



地域公共交通の現状と今後

公共交通空白地域に対する取り組みは。

Q 公共交通空白地域に対する取り組みは。

A 洲本市公共交通基本計画（後期）では、公共交通空白地域として、「中川原・安乎」と「千草、大野・鮎屋」の2地域を設定しており、今年度は主に、千草地域において地域主体型交通の導入を検討。地元自治会が主導して組織を立ち上げている。今後は、千草地域に適した移動手段を検討し、導入に向け支援する。

また、中川原、大野・鮎屋地区で実施されている地域主体型交通も、支援の可能性も含め検討する。

（企画情報部長）

特定外来生物

Q 本市における特定外来生物（植物類のみ）は何種類か。

A ナルトサワギク、オオキンケイギク、ナガエツルノゲイトウの3種類。（市民生活部長）

Q 駆除の方法は。

A 特定外来生物を引き抜き、その生物の一部が飛散しないように袋に入れ、燃えるごみとして焼却処分をする。また、生活環境課に申し出ていただければ、袋に封入の状態無料で回収し、焼却処分をする。

（市民生活部長）



▲特定外来生物 ナガエツルノゲイトウ

Q ナガエツルノゲイトウの対策に係る協議会の設置は。

A 南米原産の多年生水草で、繁殖力が非常に強い生物である。そのため、広報やホームページで注意喚起を図るとともに、発生状況を注視し、協議会の設立も含め必要に応じた対策を検討する。（市民生活部長）

防災出前講座

地域に向き、市民の防災意識を高める目的である出前講座の実績は。

Q 令和元年度は、実施件数32件、参加者は約1130人。本年度は、新型コロナの影響により、現時点で6件、参加者は約150人にとどまっている。いずれも講座の内容は、地震、風水害が

A 令和元年度は、実施件数32件、参加者は約1130人。本年度は、新型コロナの影響により、現時点で6件、参加者は約150人にとどまっている。いずれも講座の内容は、地震、風水害が



▲大野地区での防災訓練

天変地異、自分の命は、自分で守る備えの推進を

小野 章二 (志)



ほとんどである。

（総務部長）

コロナ禍の避難所運営

Q 新型コロナウイルス感染症対策（3密など）を考慮した避難所の運営は。

A 避難所内をゾーニングすることで避難所内の密を避けることを想定している。また、世帯ごとの間隔は最低1メートル以上確保することを考えており、確保が難しい場合は、パーティションや間仕切りを利用した対応を行う。（総務部長）

在宅（自宅）避難

Q 防災グッズ購入の支援策は。

A 個人に対しては行ってないが、

町内会レベルでは、つながらり基金助成事業において、災害などに備えるための資機材購入の支援制度を設けている。（総務部長）

ごみの減量化

Q リサイクルポイント制度の概要は。

A 資源物をエコステーションへ排出することが困難な場合でも、適正に分別し、回収拠点施設へ直接持ち込んで頂くことを促す施策として実施するもので、市が指定する資源物の重量10kg当たり1ポイントを付与。30ポイント貯まれば300円のクオカードなど引き換えを行う。詳細が決まり次第、周知する。（市民生活部長）

（市民生活部長）



コロナ禍、命と暮らしを守る
更なる支援を

片岡 格 (日本共産党)



コロナウイルス対策

Q コロナ禍での市内における商工・観光産業の状況は。

A コロナ禍が原因となる倒産は聞いていないが、これ以上続くとの時点で何とか耐え忍んでいる事業者の方々も、限界を超えてしまう可能性がある。

Q 市内の多くの事業者は、第3波を

受け、年が越せない深刻な状況にある。今、最も重要なことは、徹底したPCR検査や追跡検査を公費で行い、

今後必要なコロナ対策を取っていききたい。

感染経路を断つこと。

(副市長)

そして暮らしを支える事業継続のため、持続化給付金の再支給、休業補償などの支援を急ぐべきでは。

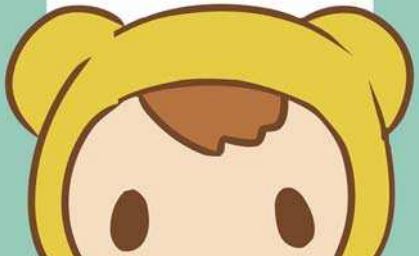
そのほか、由良の工トワール生石の現状と活用策について、質問しました。

A

議員の意見を踏まえて、当市として何をするのが適切なのか十分検討した上で、

新型コロナウイルス対策
支援ハンドブック

洲本市



防災・緊急情報の拡充へ

氏田 年行 (宙)



CATV事業

Q 更新を予定している告知端末機の特徴は。

A これまでのLANケーブルからテレビのアンテナ線を利用する形式に変更。市内の全世帯数の約88%へ緊急・防災情報を提供することができる。

Q インターネットサービスのサポート体制は。

A 電話でのサポート対応をはじめ、

電子メールでの対応や、来年度からはリモートで設定状況を確認できるシステムを導入予定である。

(企画情報部長)

森林環境税・森林環境譲与税

Q 防災・減災につながる森林保全対策は。

A 間伐や簡易土留め柵を設置する緊急防災林整備事業を計画的に行っている。

Q 森林環境譲与税の効果的な活用は。

A 森林整備だけでなく、森林レクリエーション機能の向上や、公共施設の木質化を図る木材利用などにも、取り組んでいく。

入札制度

Q 災害時の復興支援や、ボランティア活動などの入札参加資格への評価は。

A 災害協定締結による協力や、公共施設への愛護活動の実施、障害者雇用などの社会貢献評価を、入札参加資格審査時に加算して評価している。

Q 総合評価落札方式の適用は。

A 従来の価格のみによる入札方式とは異なり、価格と施工能力や技術力、環境への配慮などを総合的に評価し、落札者を決定する総合評価落札方式については、他団体での導入効果の状況などを調査しながら研究する。



厳しい財政見通し。
将来を見据えた運営を

木戸 隆一郎 (志)



Q コロナ禍による減収の影響は。

A コロナ禍による今年度の市税収入見込みは、前年度を2億円程度下回る57億円程度の見込み。

Q 来年度は、今年度を2億円程度下回る可能性がある。

A 戦略人口をもとに財政見通しを試算しているが、現在の人口との比較で差が出てきているが。

A 実際の人口との差は今後とも生じてくる。5年後の第2次行政改革実施の方策を更なる際に加味し、検討する。(理事)

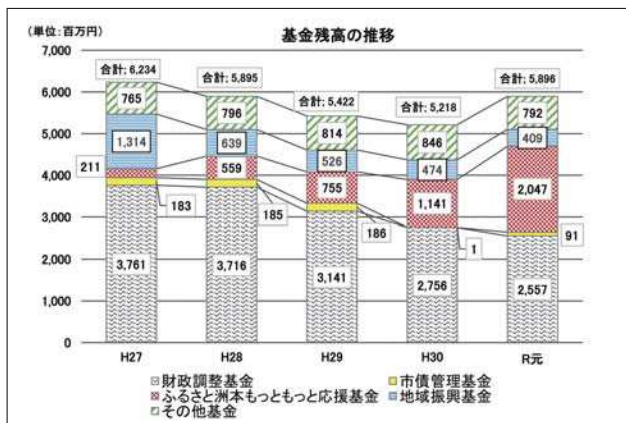
Q 財政調整基金残高を標準財政規模の5%以上とした理由は。また、その額は。

A 基金の規模については明確な基準が定められていない。

Q 時期未定や計画未策定などにより、財政見通しに記載していないものは。

A 広域ごみ処

別施設計画
理施設への負担金、個別施設計画



▲出典：パブリックコメント用 財政運営方針(案)

淡路の水道事業

淡路広域水道企業団
奥野 豊 副企業長

◆10月20日
10月の議員研修は奥野副企業長から講演をいただきました。



島内における水道事業の現状と、将来の需要水量の推移の説明があり、明がりました。今後の人口減少による水需要の減少や、管路の計画的更新と施設の老朽化に伴う更新費用の増加により、厳しくなる経営状況に対応するため、経営基盤の強化と、財政マネジメントの向上に取り組んでいるとのこと。

議員研修

震災の教訓を活かす
兵庫県の減災防災対策

兵庫県淡路県民局
亀井 浩之 局長

◆11月25日
11月の議員研修は亀井局長から講演をいただきました。

阪神・淡路大震災からの復興と、防災対策の充実、関西広域連合における広域防災の取り組み、その他の災害への対応、そして、遠くない将来起こると思われる南海トラフ巨大地震への対策など、最近発生した災害事例から、さまざま具体的な学びや教訓として説明していただきました。



教育民生 常任委員会

実施日：令和2年10月27日(火)
団体名：洲本市PTA連合会

テーマ PTA活動及びICT教育

単位PTAの連絡を密にして、相互にその健全な発展を図ることを目的とし、子どもたち及び会員の福祉増進と健全育成に関することなどの事業を行っています。

前林会長

新型コロナウイルス感染症の流行で、新学期から休校となった。夏季休暇の短縮で対応したものの、授業の遅れを取り戻すことができるのか、心配をしている。



久次米副会長

ICT教育に反対はしていないが、心身共に成長する時期、コミュニケーション「力」及び身体「力」の向上に支障が出ないか危惧している。

産業建設 常任委員会

実施日：令和2年11月17日(火)
団体名：洲本飲食組合

テーマ コロナ禍の現状

洲本飲食組合は淡路島で最大規模の組合で、市内の13地区で活動をしています。

意見交換会では、人の往来が制限され、苦境に立つ飲食業界の現状をお伺いし、今後の展開などを話し合いました。



井壺理事長

一概に飲食といっても業態が様々だ。公平な支援を求めたい。例えば光熱費補助とか。営業に支障が出るのでPCR検査の結果を早く知りたい。



花野理事

物販を始めたいが、食品、一括表示ラベルの仕方が分からない方がいる。指導してくれる所があれば助かる。

団体加盟店と個人店とでは情報格差が生まれ、支援策が行き届かなかった。



三宅理事

新年あいさつ

議長 柳川 真一



新年あけまして

おめでとうございます

ます。市民の皆さん

まには、輝かしい

新年を健やかに

迎えることとお慶

び申し上げます。

副議長 先田 正一



昨年は、新型コ

ロナウイルス感染

症の影響で、社会

も生活も大きな変

化がありました。その

ような中、二元代表

制の元で、少しでも

市民の皆さまの生活

の一助となるよう、

さまざまな施策を審議

してきました。

これからも、生活

支援や経済対策など、

一日も早く安心して

生活できる洲本市の

実現に向け全集中で

邁進してまいります。

結びに、市民の皆さまの益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

表紙写真募集!

市内で撮影された風景、イベント等の写真で表紙を飾りませんか?

詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。

洲本市議会 検索

3月定例市議会の予定

2月18日(木) 常任委員長会

2月22日(月) 議会運営委員会

議会報編集特別委員会

2月25日(木) 本会議 (第1日)

3月8日(月) 本会議 (第2日)

3月9日(火) 本会議 (第3日)

3月10日(水) 本会議 (第4日)

3月11日(木) 予算審査特別委員会

3月12日(金) 予算審査特別委員会

3月15日(月) 予算審査特別委員会

3月16日(火) 常任委員会

3月17日(水) 常任委員会

3月18日(木) 常任委員会

3月19日(金) 予備日

3月22日(月) 本会議 (第5日)

3月23日(火) 本会議 (第6日)

編集後記

◆皆さま、あけましておめでとうございます。コロナで終了した令和2年。帰省控えや忘年会・新年会の中止など、いつもとは違う年末年始を迎えられたのではないのでしょうか。◆令和3年は辛丑(かみとうし)。緩やかな衰退、痛みを伴う幕引きと、新たな命の息吹が互いを生かしあい、強め合うという年だそう、焦らず慎重に進めることが重要。強い意志が試される年になりそうです。◆



▲活発な意見が交される編集作業の様子

まだまだ先が見えないコロナ禍でも、ワクチンの開発など明るい話題も聞こえて来ています。人は知恵を絞りながら今日まで歩を進めてきました。新しい年とともに、明るい光が誰にも降り注ぐ1年になりますよう、心から祈ります。

(中野)

